

高規格道路

拳の川バイパスと中角工事の進捗は

説明会の必要性を感じている／町長



にしむら さくお 議員
西村 策雄

に就任来要望活動を行っている。

説明会については、必要性を感じているので段取りをしている。町長、担当ともに提示できる材料を整えて地域に入りたいと考えている。

問

窪川、拳の川間のバイパスと中角インター事業は進んでいるか。また、中角インター予定地の地権者は、移転の時期や条件が不明確で心配と不安な日々を送っている。どう対応するのか。

答

大西町長

武政建設課長

現段階での課題は、本事業のように新規事業凍結の解消



来年完成予定をめざす白石団地工事

産業振興

農業、水産業への取り組みは

県と協議し進めたい
／海洋森林課長

問

沿岸漁業の水揚げが落ちている。漁業者の代表も魚付け漁礁とエビ漁礁の設置による活路を訴えている。今年から灘、白浜、佐賀、鈴ヶ投石を行い水揚げ倍増に取り組めないか。大方の黒砂糖は特産品だが新品種のサトウキビの導入の考えはないか。

答

谷口海洋農林課長

松田農業振興課長

去年は経済対策として、エビ漁礁を実施した。漁業の活性化のため、漁礁が必要なこ

とはわかっているので、県と協議をして進めたい。
サトウキビの新品種によって、バイオエタノールと白砂糖の生産を維持している。しかし、町の面積では耕作は無理と考えている。

問

南海地震の津波対策で、佐賀は旧魚市場前のケーソンの沈下で、明神、浜町、会所、横浜の港周辺と、川沿いが津波直撃の危険がある。

地震津波対策

国の制度活用による地震・津波対策を

津波対策はまず逃げること
／地域住民課長

答

大塚地域住民課長

防波堤の整備には膨大な予算が必要となり現実性が低い。地域と協議して津波避難計画を作り、逃げる津波対策の重要性を住民に周知している。県や関係者と連携して、できることから取り組むことにしている。

